

2019 Laser 北信越選手権

2019 Tasar Early Summer Regatta



NIIGATA SAILING FEDERATION



新潟県セーリング連盟

日 程	2019年5月25日(土)～26日(日)
共同主催	新潟県セーリング連盟 日本テザー協会 レーザー新潟フリート
協 力	NPO法人海レクサポートせいろ
開 催 地	新潟県北蒲原郡聖籠町網代浜沖
大会本部	新潟県北蒲原郡聖籠町網代浜 1612-5 聖籠町 海のにぎわい館

帆走指示書(SI)

1. 規則

- 1-1 本大会は「セーリング競技規則 2017-2020」(以下『規則』と表記)に定義された規則を適用する。
- 1-2 規則 4.2 違反に対し付則 P を適用する。
- 1-3 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
 【DP】はその規則違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することが出来ることを意味する。
 【SP】はレース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することが出来る規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は S T P とする。これは規則 A 1.1 を変更している。
 【NP】はこの規則の違反は艇からの抗議の根拠にならないことを意味する。これは規則 60.1 (a) を変更している。
- 1-4 テザークラスルールを以下の通り変更する。
 C1.5 「幅:200mm」の後に「(1 と I を除く)」を追加する。
 C6 削除。
 C2.2(o) 「18mm の硬質の合金あるいはステンレスで、両側のトラック端から 75mm 以上伸びる長さの、ガンネル下の負荷分散用のサポートロッド。」という文中の「75mm」を「15mm」に変更する。
 解釈 32 「レース中の艇は、「時刻関連」と「方位」以外の戦術的なアドバンテージを、電子機器より得てはならない。」とする。

2. 競技者への通告

- 2-1 競技者への通告は、大会本部前に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書(以下、指示)の変更は、それが発行する当日の 8:00 までに掲示される。ただし、レース日程の変更は前日の 17:30 までに掲示される。

4. 陸上で発する信号【NP】

- 4-1 陸上で発する信号は、大会本部前のポールに掲示される。
- 4-2 艇は音響信号 1 声とともに掲揚される D 旗が陸上で発せられるより前に出艇をしてはならない。予告信号は予告信号予定時刻、又は D 旗が掲揚されてから 40 分以降に発せられる。
- 4-3 陸上で回答旗が掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「40分以降」に置き換える。

5. レース日程・レース数

5-1 レース日程は下記のとおりとする

5月25日(土)	9:00 - 11:00 11:00 12:25 引続き 引続き	受付 開会式・ブリーフィング テーザークラス 第1レース予告信号 レーザークラス 第1レース予告信号 レーザーラジアル・レーザー4.7クラス 第1レース予告信号
5月26日(日)	8:30 9:55 引続き 引続き 15:30(予定)	ブリーフィング テーザークラス この日最初のレースの予告信号 レーザークラス この日最初のレースの予告信号 レーザーラジアル・レーザー4.7クラス この日最初のレースの予告信号 閉会式

- 5-2 本レガッタは6レースを予定する。1日に実施する最大レース数は4レースとするが、各日の実施レース数はレース委員会の裁量によるものとする。
- 5-3 各日ともその日最初のレース終了後、適宜次のレースの予告信号を発する。
- 5-4 1つのレース又は一連のレースが間もなく始まる事を艇に注意喚起する為に、予告信号を発する最低5分以前に、音響1声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 5-5 5月26日(日)は13:30を超えて予告信号が発せられる事はない。

6. クラス旗

6-1 クラス旗は以下の通りとする。

クラス	クラス旗
テーザー	白地に赤色でテーザークラスの形象が記された旗
レーザー	白地に赤色でレーザークラスの形象が記された旗
レーザーラジアル	緑地に赤色でレーザークラスの形象が記された旗
レーザー4.7	黄地に赤色でレーザークラスの形象が記された旗

7. レース海面

- 7-1 【添付図A】にレース海面の位置を示す。

8. コース

- 8-1 【添付図B】の見取り図には、コースを示す文字、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8-2 各クラスのコースについては、各クラスの予告信号までにレース委員会信号船に掲示される。
- 8-3 予告信号以前にレース委員会信号船に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

9. マーク

- 9-1 マーク1、2、3、4s、4pはピンク色円錐台ブイとする。
- 9-2 マーク1aはオレンジ色円筒形ブイとする。
- 9-3 指示11に規定する新しいマークは、黄緑色円錐台ブイとする。ただし、マーク1aを変更する場合は青色円筒形ブイとする。
- 9-4 スタートマークはレース委員会信号船と黄色円柱形ブイである。
- 9-5 フィニッシュマークはレース委員会船と青色の帯を巻いた黄色円柱形ブイとする。

10. スタート

- 10-1 スタート・ラインは、レース委員会信号船のオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚しているポールと、黄色円柱形ブイのコース側の間とする。
- 10-2 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタートエリアを回避しなければならない。
- 10-3 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と

記録される。これは規則A 4、規則A 5を変更している。

1 1. コースの次のレグの変更

- 1 1-1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（または、フィニッシュ・ラインを移動し）、実行出来れば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

1 2. フィニッシュ

- 1 2-1 フィニッシュ・ラインは、レース委員会船のオレンジ色旗を掲揚しているポールと青色の帯を巻いた黄色円柱形ブイのコース側の間とする。

1 3. タイムリミットとターゲットタイム

- 1 3-1 タイムリミットとターゲットタイムは次の通りとする。

クラス	タイムリミット	マーク1の タイムリミット	フィニッシュ・ ウインド	ターゲットタイム
テザー	70分	20分	15分	35分
レーザー	70分	25分	15分	40分
レーザーラジアル レーザー4.7	70分	30分	15分	45分

- 1 3-2 マーク1のタイムリミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースは中止する。
 1 3-3 先頭艇がコースを帆走して、フィニッシュした後フィニッシュ・ウインド内にフィニッシュしない艇は審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。これは規則35、A4、A5を変更している。
 1 3-4 ターゲットタイム通りにならなくても救済の根拠とならない。これは規則62. 1(a)を変更している。

1 4. 抗議と救済要求【DP】【NP】

- 1 4-1 抗議書は、大会本部にて入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な時間内に提出されなければならない。
 1 4-2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。この時刻は公式掲示板に掲示される。
 1 4-3 レース委員会、プロテスト委員会からの抗議を規則61. 1(b)に基づき被抗議艇に伝える為に、当該委員会は抗議の通告を掲示する。
 1 4-4 審問の当事者であるか、または承認として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせる為、抗議締切時刻後20分以内に通告を掲示する。審問は陸上本部奥の会議室にて、おおむね受付順に始められる。
 1 4-5 指示1-2に基づき規則42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは掲示される。
 1 4-6 大会最終日では、審問の再開要求は次の時間内に提出されなければならない。
 ・再開を要求している当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時刻まで。
 ・再開を要求している当事者が当日に判決を通知された後20分以内。
 この項は規則66を変更している。
 1 4-7 大会最終日では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の通告から20分以内に提出されなければならない。これは規則62. 2を変更している。

1 5. 得点

- 1 5-1 本レガッタが成立するには、1レースを完了させることを必要とする。
 1 5-2 テザークラスにおいては艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
 1 5-3 レーザー・レーザーラジアル・レーザー4.7クラスにおいては、4レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

- 15-4 規則90.3(b)に規定された以下の規則に基づく失格(DNE)に対する得点はエントリー数に3を加えた得点とする。これは規則A4.2を変更している。
 ・規則2 ・規則30.4の最終文 ・規則69.2(h)(2)

16. 安全【NP】【SP】

- 16-1 出艇する競技者は出着艇申告所に用意される出艇申告書に署名しなければならない。
 16-2 帰着した競技者は出着艇申告所に用意される帰着申告書に署名しなければならない。
 帰着申告締切時刻は、抗議締切時刻である。
 16-3 レースからリタイヤする艇は、出来るだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
 16-4 レース委員会、プロテスト委員会は競技者や艇が危険な状態であると判断した場合、救助及び必要な処置を強制的に行う場合がある。これは規則60.1(b)を変更している。
 16-5 レーザー・レーザーラジアル・レーザー4.7クラスは直径6mm以上、長さ5m以上のパウラインを搭載しなければならない。
 16-6 艇はマストトップに浮力体を取付けることができる。

17. 装備と計測のチェック【DP】

- 17-1 艇又は装備は、クラス規則に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。

18. 運営船の識別

- 18-1 運営船の標識は次の通りである。

運営船	旗
レース委員会船	白地に赤色で「RC」と記された旗
プロテスト委員会船	ピンク地に黒色で「JURY」と記された旗
報道船	緑地に黒で「MEDIA」と記された旗
安全監視船	赤地に白色で「安全監視船」と記されたのぼり

19. 賞

- 19-1 各クラスとも、1~3位に賞を与える。
 19-2 テーザークラスは乗員の合計年齢別に以下の賞を与える。
 マスタークラス(80歳以上99歳以下) 1位
 グランドマスターズ(100歳以上119歳以下) 1位
 スーパーグランドマスターズ(120歳以上) 1位

20. 責任の否認

- 20-1 このシリーズの競技者は自分自身の責任で参加する。
 シリーズの主催団体は、シリーズの前後、期間中に生じた物理的な損害又は身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

21. ゴミの処理

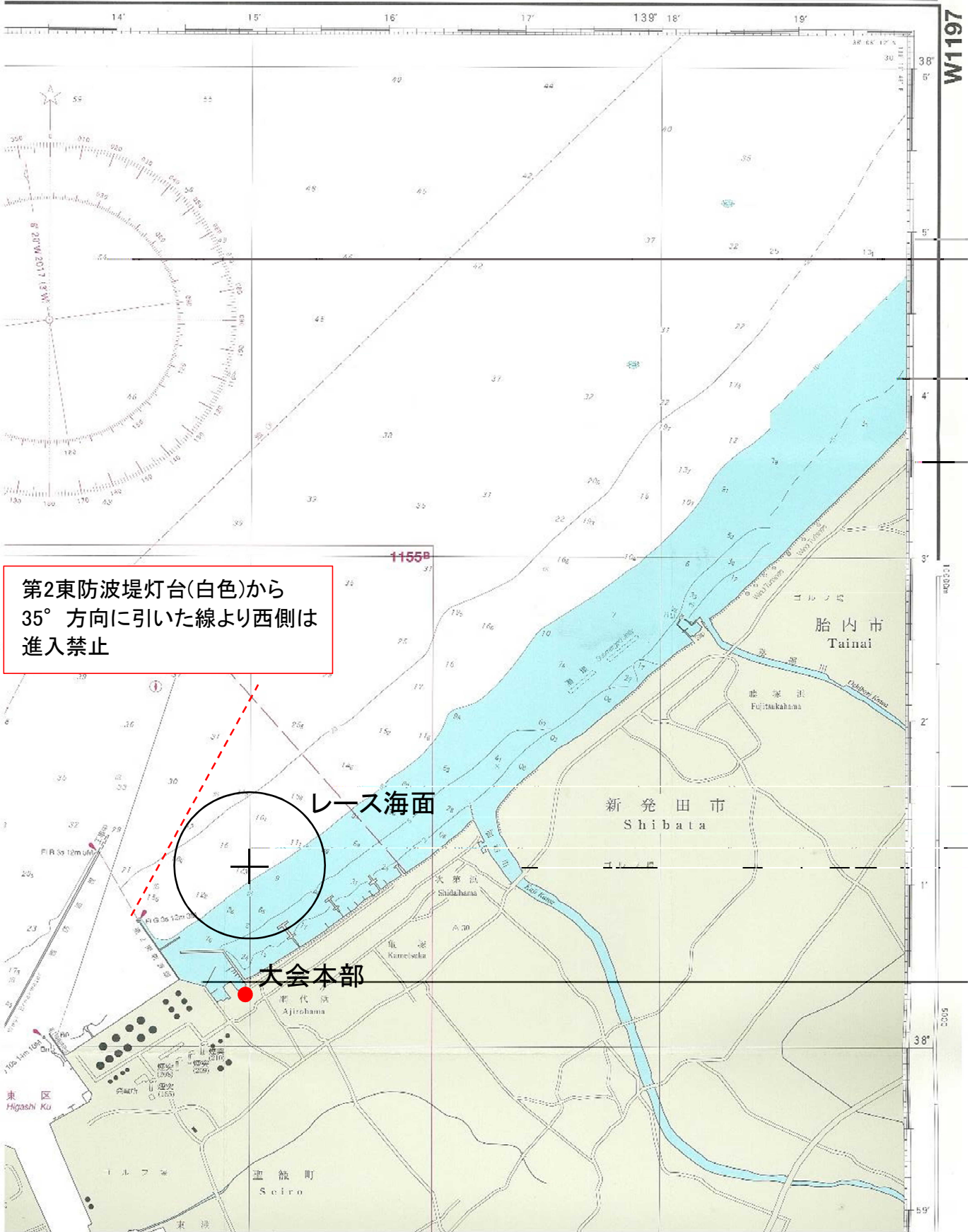
- 21-1 ゴミはレース委員会船・プロテスト委員会船に渡すことができる。

22. 容認事項

- 22-1 本大会に参加することにより競技者は主催者に対し、競技期間中の競技者のあらゆる写真・動画あるいはその他の複製を、いかなる時も自由に作成、使用、公開する権利を、無償で永続的に譲渡したものとす。

【添付図A】 レース海面

関係する海上保安庁行先の図面を並列し、
要丸、常に適切な最大深度を使用し、海図や行先の更新を維持すること。
RELATED UNCLASSIFIED PUBLICATIONS ARE PROVIDED FOR USE.
ALWAYS USE THE LATEST DATA, IF APPROPRIATE AND KEEP CHARTS AND PUBLICATIONS UPDATED.



W1197

1:50,000

500

